

| 特集1 | 山梨大学でキャンパス内留学

異文化交流で広がる視野！身につく生きた語学力！

| 特集2 | 大村智記念学術館リニューアルオープン

| 人物発掘 | 大学院 総合研究部 工学域 機械工学系
北野 雄大 助教

| ゼミ紹介 | 生命環境学部生命工学科 生殖細胞発生研究室

| pick up Lesson | 電気電子工学実験Ⅱ

| クローズアップビープル | 八並 航平(医学部医学科4年生)

津戸 成美(教育学部生活社会教育コース4年生)

| サークル紹介 | 男子バレーボール部・KCDC

| 学生広報スタッフがレポート | CAMPUS GUIDE 甲府キャンパス編

| UNIVERSITY OF YAMANASHI NEWS&TOPICS |

山梨大学で キャンパス内留学

異文化交流で広がる視野！ 身につく生きた語学力！

山梨大学には、世界各国から本学に留学した学生たちと日本人学生たちが、異文化理解や語学学習を通じて、学生間で互いに学びあい、国際的なコミュニケーションを育成する「G-フィロス」(グローバル共創学習室)があります。ここでの国際交流は、まさに「キャンパス内留学」!!日常的に英語でコミュニケーションをとることができ、自然と笑顔になれる、まるで毎日海外留学をしているかのような G-フィロスでの活動をご紹介します。



Activity 1

留学生との交流で英語力アップ!

English Café

留学生と楽しく英会話をすることで、英語力はもちろん、英語でのコミュニケーション力を高めることができます。さまざまな国や地域の学生との交流ができる English Café は、まさにキャンパス留学の中心の場となっています。



Activity 2

異文化交流イベント

外国語カフェ & Holiday Party

留学生が自国の街の様子や文化、言葉、観光や食事などを紹介し、交流するイベントです。地域住民や高校生など学外の方も参加できます。



外国語カフェのひとコマ。モンゴルからの留学生が自国のゲームを紹介し、みんなで体験!



Holiday Party では留学生が自分の国について話します



Holiday Party にはたくさんの留学生・日本人学生が参加

Activity 3

英語学習アドバイザーによる学習支援

英語レッスン & 英語学習相談

バイリンガルの英語学習アドバイザーが丁寧にサポート! 英会話・各種英語試験対策・発音練習などで利用可能。プライベートレッスンなので英語が苦手な方も安心して受けられます。



G-フィロスに集まる留学生・日本人学生・アドバイザーに インタビュー!

Q. どんな日本人学生が集まりますか?

留学生の友だちを作りたい学生や英語のスキルアップをしたい学生が集まります。はじめは英語があまり話せない学生も多いですが、僕たち英語SA(Student Assistant)※の留学生と会話したり、イベントで交流したりして、一緒に旅行に行くほど仲良くなった学生もいます。

※英語 SA…日本人学生の英会話の練習をサポートする学生



留学生 英語SA
CHEW KHAI JIEさん
工学部 機械工学科 3年
(マレーシア出身)



留学生 英語SA
RICARDO ARIEL
CERRUDさん
博士課程 工学専攻
システム統合工学コース 2年
(パナマ共和国出身)

Q. G-フィロスではどんなことをしていますか?

外国語カフェやホリデーパーティーなどのイベントが定期的に行われています。僕も自国のダンスを披露し、色々な国の料理を振る舞いました。平日はSAとしてEnglish Caféで英会話や英語学習のサポートを行っています。

Q. G-フィロスでの国際交流イベントに参加してどうでしたか?

さまざまな G-フィロスのイベントに参加し、マレーシア出身の留学生と仲良くなりました。そして、学園祭でマレーシア料理を提供する屋台を留学生と出店したことがとても楽しかったです。留学生との交流をきっかけにマレーシアに興味を持ち、今度の春休みに海外研修に参加します!



春季海外研修参加
原 千里さん
教育学部 言語教育コース 1年
(マレーシア出身)



学位取得プログラムによる留学に参加
大石 拓哉さん
修士課程 工学専攻
コンピュータ理工学コース 1年

Q. 留学経験後、G-フィロスをどのように活用していますか?

僕は山梨大学と留学先大学の両方を修了できるプログラムに参加して、研究分野である AI を中心に学びました。レベルの高い内容でしたが、研究指導を受けながら学びを深めました。帰国後は G-フィロスで留学生と交流することで、英語力を維持できています。



国際化推進センター
石川 綾美
英語学習アドバイザー

Q. G-フィロスを起点とした交流のひろがりを見せてください。

G-フィロスは、英語や国際交流といった共通の興味を持つ学生が、学年や学部を越えて交流し、仲間を作ることができる場です。ここでできた仲間同士が互いに刺激し合い、英語学習への意欲を高め合ったり、異文化理解や留学への関心がさらに深まったりするようです。

日本を飛び出そう!

海外研修・交換留学先の国・地域

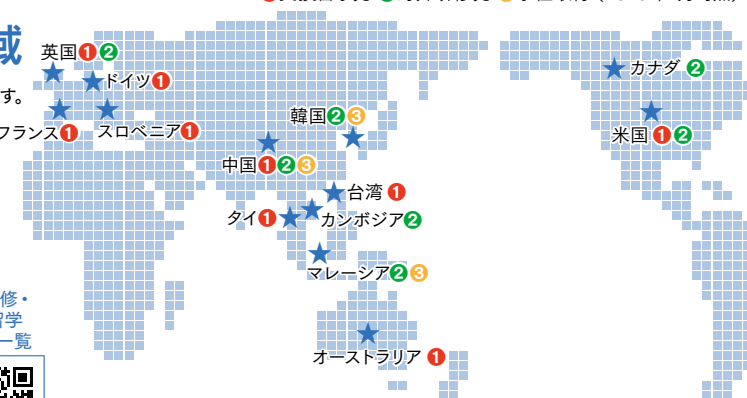
山梨大学は様々な留学プログラムにより海外での体験を応援しています。また、奨学金制度により、経済支援を受けることも可能です。

- 1 交換留学プログラム (1学期～1年間)**
山梨大学が提携する海外大学で専門科目を学びながら生活する交換留学プログラム。海外大学で修得した単位は、審査を経て本学の単位に認定できます。
- 2 海外研修プログラム (2週間～5週間)**
春季・夏季休暇中に実施される語学学習や異文化体験が可能なプログラム。
- 3 学位取得プログラム (デュアル・ディグリープログラム) (4か月～1年間)**
大学院において、提携する海外の大学と山梨大学の双方から修士や博士の学位を取得するプログラム。

海外研修・交換留学実施校一覧



1 交換留学先 2 海外研修先 3 学位取得 (2025年1月時点)



留学に関する問合せ先 山梨大学国際化推進センター・教学支援部グローバル推進課
yu-study-abroad@ml.yamanashi.ac.jp

大村智記念学術館

リニューアルオープン



大村智本学特別栄誉博士(左)と中村和彦学長(右)によるテープカット

1958年(昭和33年)に山梨大学学芸学部(現・教育学部)を卒業した大村智本学特別栄誉博士は、抗寄生虫抗生物質エバメクチン・イベルメクチンの発見による感染症への治療法に関する研究の業績が高く評価され、2015年(平成27年)12月にノーベル生理学・医学賞を受賞しました。

本学は、これを機に「山梨大学 大村智記念基金」を設立し、大村博士の偉業を称え、その功績を末永く顕彰するため、2018年に「大村智記念学術館」を創設しました。

そしてこの度、大村博士より、新たにノーベル生理学・医学賞証書とメダル、文化勲章証書と勲章、賞牌を含む60点を寄贈を受け、同館の展示コーナーをリニューアルし、2024年(令和6年)12月11日に、オープンセレモニーを挙行了しました。

メッセージ



大村智本学特別栄誉博士

学術館の展示内容を新しくして、オープンしていただきましたこと、たいへん光栄に思います。ありがとうございました。

私の半生は、世の中に役立つ研究、つまり「実学研究」をめざしたもので、これは北里研究所の創立者、北里柴三郎先生の示した研究者の心構えでありました。これまでに多くのすぐれた協力者に恵まれ、研究を推進することができ、幸運であったと思っています。

また進歩を目指す人々の集まりである組織は、思いもよぬ大きな成果を上げることができるということを体験することができました。私と共に研究した人々の中から、120名あまりの博士号の取得者が生まれ、そのうち36名が教授職についております。これらの人々と共同研究を行ってきた総合的な評価が、

私の多くの受賞の元となっていると思っています。そのようにしていただいたノーベル賞を始めとするもろもろの賞の証書、メダルなど33点余りがわたくしの実家の倉庫に収められておりました。

いかにこれを役立たせるかということを熟慮した結果、母校、山梨大学に寄贈させていただくことにいたしました。幸いにして、山梨大学の中村学長をはじめ関係各位の賛同をいただきまして、学術館というすばらしい落ち着いた場所で展示されることを喜んでいただいております。

これらのメダル、勲章、賞牌、証書など、大学の教育に役立たせていただくだけでなく、一般の人々にもご覧いただき楽しんでいただければ幸いです。

若い世代の皆さんには、失敗を恐れず挑戦し続けることが科学者としてまた人間としても成長につながることを、何を何よりお伝えしたいと思っています。夢を持ち、それを実現するために努力を惜しまないでいただきたいと思います。



中村和彦学長

この度、大村先生からご寄贈いただきましたノーベル賞をはじめとする大変貴重なメダルや賞状、多くの関連資料は、まさに学術の象徴であると同時に、後進の学びと、挑戦への道しるべとして、極めて重要な意義があるものと考えております。

「地(知)の拠点」の役割を担う本学において、「大村智記念学術館」は、地域コミュニティの中核的存在であり、

学術・文化・芸術の創造と発信の拠点として、山梨大学の新たな歴史を刻む、非常に重要な、かつ象徴的な建物でございます。

私は、今回のリニューアルを通して、未来を担う児童生徒、そして学生が、自分たちの「無限の可能性」を信じ、失敗を恐れずに挑戦し続けることの大切さを感じることができる「知の拠点」となることを、真に願っております。「大村智記念学術館」が、ここ山梨大学から地域、さらには世界に向けての、学術と文化の発信地として、益々発展して参りますことを確信しております。



大村博士と中村学長 展示室見学の様子



ノーベル賞メダルの説明をする大村博士

展示室

展示室に入っただけには、ノーベル生理学・医学賞証書とメダル、文化勲章証書と勲章、賞牌等を展示。そのほか、年譜や研究業績の一覧、さらには研究に関する実物展示や山梨大学時代の写真等を展示しており、大村博士の軌跡をたどることができます。



大村博士の主な栄誉



大村博士の足跡



研究器具等展示コーナー



大村博士の研究の歴史



大村博士 山梨大学時代



大村博士ライブラリー



関連発行誌コーナー

「山梨大学大村智記念基金」のご案内

大村智特別栄誉博士のノーベル生理学・医学賞のご受賞を機に設立し、同博士に続く次世代の若手研究者等の育成を推進するとともに、同博士のご功績を末永く顕彰することを目的とする基金です。



大村智記念基金HP



大村智記念学術館

開館日等、詳細はホームページにてご確認ください



専門分野 ロボット工学
学 位 博士（工学）
略 歴 （高校卒業～現在まで）
2006年 鈴鹿工業高等専門学校 機械工学科 卒業
2008年 岡山大学 工学部 システム工学科 卒業
2014年 宇都宮大学大学院 システム創成工学専攻 卒業
2014年4月～2015年2月
宇都宮大学 地域共生研究開発センター
2015年3月～現在 山梨大学 工学域 機械工学系



技術や学問の習得には必ず時間や手間がかかり、ある程度は面倒で苦しいものです。なのでどうしても夢や高い目標を達成するには、困難に立ち向かう必要があります。苦しみや面倒が長く続く状況で実力を発揮し続けるために、それを少しでも楽しく、楽にする方法を考えてみてほしいです。

幼少期の思い出

とにかく何でも自分で作る家系だったので小さいころから工具に触れる機会が多かったです。田舎で素材はいくらでもあったので、祖父や父の工具を借りて遊具や飾りを作っていました。小さい頃は上手には出来ませんでしたが、思いついたものを色々作っていました。たまに上手く出来た作品を誰かが使ってくれるのが非常にうれしかったことを憶えています。

学生時代の思い出

幼少期の思い出からもわかるかもしれませんが、ものづくりが好きで中学生の頃にはものづくりで仕事をしたいと考えていました。そのため、高校は

工業高専、大学は工学部を選択しました。高専では寮に入り、その後も一人暮らしで自由に生活していました。旅行に行ったり、喫茶店巡りをしたりとあれこれ好きなことをしていたので学業はサボりがちでした。5科目でいうと理科のみに特化しているような成績で全体では中の下くらいでした。宇都宮大学で恩師である横田和隆先生に出会ったことで博士課程を目指すようになり、ギリギリの成績で何とか博士号を取得できました。成績が悪かったので日本各地



喫茶巡りの様子

を転々としたが、友人には恵まれていて、日本全国に友人がいることが私のひそかな自慢です。

現在の先生の研究について

私の専門はロボット工学です。普段はロボットに関する講義や子供向けのロボット教室を担当しています。研究としてはパワードスーツ（人が着用することで身体能力を強化したり、サポートしたりする）や福祉機器、医療機器に携わることが多いです。私は研究を考える際、人を基準に考えるので人に関わるロボットの研究が多いです。どのようにしたらもっと人の生活が楽になるか、良くなるかをよく考えます。近年、ロボットは人の生活を良くするうえで欠かせないものになりつつあります。しかし、ロ

子供向けのロボット教室



ボットは根本的な構造から人と大きく異なります。ロボットの種類によっても異なりますが、人に直接影響を与えられるようなロボットは非常に力が強く、大きなエネルギーを持っています。そのため、ロボットに問題があると人に危険が及びます。パワードスーツや福祉機器のように人に関わるロボットは常にこのリスクと向き合う必要があります。

私はこういったリスクの軽減を目指して新しい技術を開発しており、具体的にはリスクの軽減の方法としてロボットの軽量化や高自由度化の研究を進めています。

軽量化は読んで字のごとく、軽くすることです。人はペットボトル程度の重さでも、数時間も手の上に置き続けることは出来ません。長時間の利用を想定すると人に関わるロボットの重量は軽いほど良いです。近年の技術革新により、コンピュータやバッテリーが軽量化高密度化され、ロボットは非常に軽くなりました。しかし、現在の技術でもパワードスーツや福祉機器としてはまだまだ重量があります。私は新しいモーターの開発や構造を工夫することで問題の解決を目指しています。

次に高自由度化としてパワードスーツの動きをより人に近づける研究を行っています。現在のパワードスーツは人に比べて非常にシンプルな動きしかできません。人の動きは非常に複雑で、すべて

の動きを補助するには現在のロボット技術では困難です。私はパラレルリンクと呼ばれる特殊な構造やジャイロ効果を利用することで問題の解決を目指しています。

現在の夢や目標

いくつかの研究に携わっていますが、私が最も得意とするのはパワードスーツの研究です。科学技術の発展に伴い、人の活動範囲は徐々に広がっています。森や山だけでなく、空や深海、果ては宇宙にまでいける時代になってきました。しかし、人の体や力はその環境の変化にすべて対応できるわけではありません。そのため、ロボットやパワードスーツで支援したり、補助したりする必要があります。環境への適応方法は色々あると思いますが、私はそのすべての環境に対応できるパワードスーツを作りたいと考えています。

座右の銘

私の座右の銘は「用に叶えば宝なり」です。つまらないものでも役に立てば宝のように貴重なものであるという意味です。私はまじめとは言い難い性格でしたのでこれまで自業自得も含めて、それなりに困難な状況に陥ることがありました。困難の際に役立つものは常に高価な物や高度な技術ばかりではありませんでした。研究の合間の友人との世間話や廃棄品から回収した古い器具が問題を解決してくれたこともあります。非常に困難な問題は正攻法だけでは解決が難しい場合があります。そ

ういう時は周りを見回してみ、固定観念を無くしてものを見るように心がけています。

学生へのメッセージ

一度、自分が楽しめることや楽な生き方を探してみしてほしいです。技術や学問の習得には必ず時間や手間がかかり、ある程度は面倒で苦しいものです。なのでどうしても夢や高い目標を達成するには、困難に立ち向かう必要があります。しかし、苦しみや面倒が長く続く状況で人が実力を発揮し続けるのは難しいですが、それを少しでも楽しく、楽にする方法を考えてみてほしいです。問題をよく見て、考え、調べることで少し楽な方法が見つかるかもしれません。困難に直面した時に急に実践することは難しいので、まずは自身の周りを楽しくて楽な環境にする方法から考えてみてほしいです。



パワードスーツ研究の様子



賞状（The 12th IEEE International Conference on Human System Interaction [HSI 2019] 論文賞）

学会で受賞した際の賞状

とある国際会議で発表した際に賞を頂きました。学生時代は皆勤賞くらいしか縁が無かったので、自分達の研究活動が認められた実感が湧き、とても嬉しい気持ちでした。山梨大学に来て、初めて共同研究を行って得た賞だったということもうれしい理由のひとつです。

生殖細胞発生研究室

生命環境学部生命工学科

生殖細胞発生研究グループ
山梨大学 ライフサイエンス実験施設 研究室 HP ▶



教授
永松 剛

東京理科大学理工学部卒業、
大阪大学医学部にて学位取得。
慶應義塾大学医学部発生・分
化生物学教室、九州大学医学
部ヒトゲノム幹細胞医科学教
室を経て2022年から現職。



卵子の発生について
マウスを用いて研究しています。



生殖細胞発生研究室とは

私達の研究室では卵子の発生について研究しています。卵子は体の中で最も大きな細胞で個体発生能を担っています。そのためゲノム情報さえあれば、細胞としての機能が停止していても卵子によって個体発生が行えます。たとえば、フリーズドライ精子の顕微授精や凍結死体の細胞の核移植からでも次世代が誕生します(若山照彦生物学教授の研究成果)。私達はこの卵子の発生についてマウスを用いて研究しています。

ため原始卵胞とよばれる未成熟な卵胞として静止状態で保管しながら一部を活性化させることで卵子形成を持続的におこなっています。そしてこの原始卵胞が枯渇してしまうと卵子を作ることができなくなってしまいます。

卵子の加齢問題

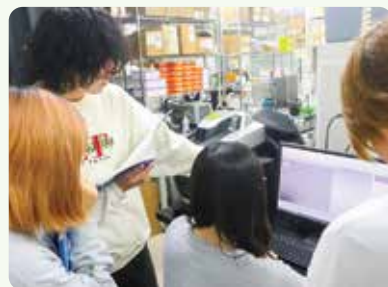
最近の社会では生活習慣の変化もあり出産の高齢化が進んでいます。そして卵子は加齢とともに機能が低下してしまうことが問題となっています。これまでに成熟した卵子を用いてその機能低下の原因が調べられていますが、効果的な解決方法はまだ見つかっていません。加齢して機能低下した卵子は原始卵胞で長期間蓄えられていたものが成熟して産生されています。しかし原始卵胞における加齢変化についてはその有無すらわかっていません。

原始卵胞について

卵子の発生過程において特に注目しているのが原始卵胞です。卵母細胞は減数分裂への移行のため生まれたときにはその数が決まっています。その



ゼミの様子



実験室の様子

目指すは卵子側の制御による技術の確立

これまで生殖補助医療では次々と新たな技術が開発されてきました。中でも顕微授精は、運動性と数という受精に関わる精子側の多くの問題を解決しました。しかしながら、卵子に問題があった場合には、解決する根本技術は未だに確立されていません。原始卵胞は卵子形成の基点となり恒常性を維持しています。この原始卵胞の理解を深めることで卵子側の制御による新たな生殖補助医療技術の確立を目指しています。

充実した大学生活を

当研究室では教育活動も活発に行なっています。大学の魅力の1つとして人と人の出会いの場としての側面を重視して、在学生同士さらには多様な社会人との交流の場としてセミナー(生命科学の最前線)や懇談会(ようこそせんばい)を開催しています。また、年末には研究室主催でお餅つきも開催しています。



電気電子工学実験Ⅱ

「モノづくり」の難しさと楽しさを体験！

グループで制作した
遠隔操作できる
エレベータシステム



発表会の様子



担当教員



工学域
電気電子情報工学系
本間 聡 准教授

電気電子工学実験Ⅱで学ぶ「モノづくり」とは？

本講義では、電気回路や電子回路の知識を活用し、本格的な「モノづくり」に挑戦する実験を行います。自ら考案したシステムを自分たちの手で設計・製作することで、エンジニアリングデザインを学びます。

エンジニアリングデザインって何？

「デザイン」と聞くと、「見た目をカッコよく整えること」を思い浮かべるかもしれませんが、でも、エンジニアリングデザインはそれだけではありません。社会の問題やニーズを見つけ、それをどう解決するのか、どうすれば使いやすくなるのかを考えます。また、限られた資源や時間で実現可能かも考慮しながら、設計・製作・テストを繰り返して、より良いシステムを作り上げていくことをエンジニアリングデザインと呼びます。

モノづくりに挑戦！

毎年テーマが変わり、例えば「室

温を感知して自動で動作する扇風機」や「遠隔操作できるエレベータシステム」などを作成する課題が出されます。7人ほどのグループで自分たちのシステムを企画します。最初はぎこちない雰囲気で、「どんなシステムを作ろうか」と話始めますが、次第に「どんなセンサを使おう?」「通信方式はどうする?」など、熱心に議論が交わされるようになります。部品選びや調達も学生が行い、性能や組み合わせを検討します。ときには、使用電圧が合わない部品や、顕微鏡がないと扱えない部品を誤って調達してしまうこともあります。こうした失敗もまた貴重な学びの機会となります。

が思い通りに動いたときは、歓声が上がること。モノづくりは失敗の連続ですが、その先に待つ喜びは格別です。

個性あふれる発表会

最後に、制作した作品を発表会で披露します。同じテーマであっても、使用部品や設計思想の違いにより、完成した作品にはグループごとの個性が表れます。発表会は、驚きや学びを学生同士で共有する場となります。

学びと次のステップ

この実験を通じて、モノづくりの難しさと楽しさを存分に体験できます。これまでの講義で学んだ知識がどのように役立つのかを実感するだけでなく、自分に足りないスキルや知識を知るきっかけにもなります。受講生には、この経験を活かし、次のモノづくりや卒業研究に挑んでほしいです。そして、仲間と協力して何かを作り上げる大変さと楽しさを忘れず、未来のエンジニアとして成長してほしいと願っています。

試行錯誤を楽しむ

制御プログラムも学生が作成します。センサや電子デバイスをマイクロコンピュータに接続し、自作のプログラムを書き込んで動作を確認します。「あれ?動かない…」という場面が何度も訪れますが、みんなで原因を探り、試行錯誤を繰り返しながら問題を解決していきます。システム

CLOSE-UP



**勉強も部活も全力で！
実習でたくさん学んで頼れる医師を目指します！**

山梨大学を選んだ理由は？

受験の必要科目が自分の得意科目で受けることができたのが大きな理由です。自然が豊かなところなど、地元の和歌山と山梨の環境が似ていて、一人暮らしを始めても問題なく生活できています。

医者を目指した理由は？

最初から医療系に興味があったこともありますが、祖父や母ががんを患い、病院にお世話になる機会が多かったため、中学生の頃から医師への憧れがありました。高校で進路を選択するときに、父親の勧めもあり医学部に進学することに決めました。

大学に入ってみてどうでしたか？

入学前は外科に興味があったのですが、入学後に病気や治療について具体的に学び始めてからは様々な診療科の良いところを知ることができ、幅広い分野に興味を持ちました。また、解剖学の実習でご献体を用いて人体の構造を学び、改めて医師を目指すことの責任を痛感しました。

講義で印象に残っていることを教えてください！

救急車同乗実習が特に印象に残っ

ています。これは、実際に消防署へ赴いて24時間勤務を見学し、救急車の出動があれば同乗する実習です。自分が担当の日の出動要請はありませんでしたが、消防署で救急要請に備えるというとても貴重で、臨場感のある経験ができました。

サークルには入っていますか？

男子バレーボール部と学園祭実行委員会に入っています。男子バレー部は週3日練習があるので、大学生活の半分はバレー部で活動しています。自分は大学からバレーボールを始めたのですが、他の部員はバレーボール経験者がほとんどなので練習にも熱が入っています。



医学部男子バレーボール部集合写真

日は模擬店の管理や、本部でのトラブル対応などを行っていました。

今、頑張っていることを教えてください！

これから病院実習が始まるので、病気の基礎的な知識を頭に詰め込んでいます。実習は座学とは異なり、患者さんと実際に関わる機会が多いので事前準備が大切です。また、2023年に法律が改正されたことにより、医学生でも患者さんを診療することができるようになったので、より一層身が引き締まる思いです。

受験生にアドバイスをお願いします！

同じ場所で集中力が続かなかったので、家や図書館、学校など環境を変えながら勉強し、集中力を保っていました。おすすめの勉強法は、英語に毎日触れること。少しずつ力がついてくるので、苦手でも根気よく向き合ってみてください。また、勉強も大切かと思いますが、高校生のうちしか経験できない楽しいことも大事にしてほしいです。



臨床実習生認定証授与式

医学部 医学科 4年
(和歌山県出身)

ハ並 航平



大学で学んで、興味の分野が広がりました

PEOPLE

クローズアップ
ピープル



**新しいことに挑戦する日々！
経験豊富な面白い教師を目指します！**

山梨大学を選んだ理由は？

少人数教育で学生と教員の距離が近いアットホームな雰囲気と、教員ボランティアとして教育現場に学生のうちから関われる取り組みに惹かれました。また、地元の神奈川県からアクセスがいい、というのも決め手でした。

教師を目指した理由は？

弟や友だちに勉強を教えるのが好きで、周りの人からも「教師に向いているんじゃない？」という人々に言ってもらえたことがきっかけで、教師を目指すようになりました。

大学に入ってみてどうでしたか？

山梨の四季折々の風景やフルーツが大好きになりました！また、登山に挑戦したり、新しいことにもチャレンジしようと思い、夏休みに1か月かけてヨーロッパをひとり一周しました。旅のトラブルを自分だけで解決したり、海外の文化に触れる中で新しい自分を知ったりと、大きく成長できました。



個人で登った唐松岳(長野県)

教育学部 生活社会教育コース 4年
(神奈川県出身)

津戸 成美

講義で印象に残っていることを教えてください！

教育ボランティアとして県内の小学校で学習支援をしているのですが、とても魅力的な先生に出会えたことです。その先生は、青年海外協力隊で活動した経験から、教育方法の発想や話が面白く、とても懂れています。私も先生のように、いずれは青年海外協力隊として活動し、発展途上国で教師としての経験を積んで、一皮むけてから日本に戻って教師になりたいと考えています。

サークルには入っていますか？

バレーボールサークルでサークル長を務めています。このサークルは、山梨県立大学とのインカレサークルで100人ほど所属しています。先輩後輩の垣根なく仲が良いサークルで、夏は



バレーボールサークルの冬合宿

2泊3日でバレーボールの練習合宿を、冬は1泊2日でスノボ合宿をしています。他にも、ハロウィンやBBQなどイベントが盛んです。

また、4年生からは山岳部にも入部し、夏合宿で山梨県白峰三山を登りました。



山岳部の夏合宿(2泊3日白峰三山山行)

今、頑張っていることを教えてください！

教育ボランティアで外国籍の子どもたちに教えているのですが、日本語があまりわからない子が多いので、子どもたちが興味を持った題材を使って飽きずに勉強できるよう工夫しています。

受験生にアドバイスをお願いします！

私は飽きっぽかったので、いろんな教科を少しずつ勉強し、苦になる前に気分を変えながら勉強していました。大学には、高校生の頃には想像できなかったような楽しいことがたくさん待っているの、頑張ってください！



授業、海外旅行、サークル...
いろんな経験を教師に
活かしたいです

男子バレーボール部

甲府キャンパス



2部昇格後の喜びの1枚

「2部昇格」達成！
一緒にさらなる高みを目指しませんか？



力強いサーブをする選手



試合前の円陣

みなさんこんにちは！山梨大学男子バレーボール部です。男子バレーボール部は、週5日大学の体育館で練習を行っています。毎年春と秋に行われる関東大学バレーボールリーグ戦や山梨県大学バレーボールリーグ戦、天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権山梨県ラウンド等、数多くの大会に出場し、試合を通じて吸収した多くの学びを日々の練習に活かし、成長を続けています。

令和6年9・10月に行われた秋季関東大

学バレーボールリーグでは、目標として掲げていた「2部昇格」を達成することができました。OBの協力や指導を受けながら、仲間全員が主体的にチームづくりを行い、練習に励んでいます。令和7年の春季関東大学バレーボールリーグでは、「2部リーグ8位以内」「全日本インカレ出場」を目標に掲げています。2部というレベルの高い環境の中でプレーできることに感謝し、チーム一丸となってさらなる高みを目指します。また、部員一人一人が努力に努力を重ね、

全力で練習に取り組んでいます。

私たちの活動の様子や試合情報は、Instagram公式アカウント (@yamanashi_univ) で随時発信しています。ぜひフォローし、私たちの活躍を見守っていただけると嬉しいです！

DATA

- 部員数 : 25人
- 活動場所 : 山梨大学甲府キャンパス 体育館
- 活動日 : 月火水金土
- 公式 SNS : @yamanashi_univ

KCDC (K-pop Cover Dance Circle)

医学部キャンパス



スタジオでの新生歓迎会

挑戦したいを全力応援！
KCDCでお待ちしております！



単独公演 Bl∞ M でのパフォーマンス

こんにちは！KCDCです。

私たち KCDC (K-pop Cover Dance Circle) は、K-popダンスカバーを中心に活動している設立三年目のサークルです。流行りの曲から少しマニアックな楽曲まで、多彩なジャンルのダンスに挑戦しています。「ダンスを始めてみたい」「K-popが大好き！」という方にぴったりの部活です。

活動日は火土日で週に3回です。大学内の武道場や近隣のダンススタジオを利用して練習を行っています。練習では、メ

ンバー同士で振り付けを教え合いながら楽しくスキルを磨いています。初心者でも心配はいりません！経験豊富な先輩や仲間がしっかりサポートしてくれるので、ダンス未経験の人でも安心して参加できます。

また、大学の学園祭や全国区のダンス大会に挑戦したり、KCDC単独公演【Bl∞ m(ブルーム)】の運営開催を行っています。照明や動画の撮影編集にも力を入れていて日々作品づくりに取り組んでいます。

KCDCは「挑戦したい」という気持ちを全力で応援するサークルです。K-popが好きな方、ダンスを通じて挑戦したい方、ぜひ私たちと一緒に素敵な時間を過ごしましょう！部員一同心よりお待ちしております！

公式Instagramにて普段の活動やダンス動画を配信しています！ぜひフォローしてチェックしてください！

DATA

- 部員数 : 61人
- 活動場所 : 山梨大学医学部キャンパス 武道館
- 活動日 : 毎週火、土、日
- 公式 SNS : @kcdc_yamanashi
@kcdc_yamanashi.med
@K_POPYamanashi
@kpop-yamanashi

学生広報スタッフがレポート！

Campus Guide

キャンパス ガイド

甲府キャンパス編

私たち学生広報スタッフがレポートします！



Takei



Koike



Amemiya



Horii

附属図書館

専門的な学術書が多数揃っている、THE 大学図書館！多くの学生がレポート作成や試験勉強などで利用します。自習スペースだけでなく、学生が集まり、議論しながら学びを深めることができるラーニングcommonsも設置されています。

また、来館しなくても資料の取り寄せや貸出延長、購入リクエストができる「MyLibrary」というサービスもあり便利です。空きコマの図書館利用は学生の定番です！



各学部の学びに関連する専門書がいっぱい！



ラーニングcommonsはグループワークに最適！



静かな環境のもとで学習に集中できるエリアも！

大学会館食堂



丼物から小鉢まで、栄養バランスの良い食事がリーズナブルな価格で食べられる学食！昼休みは学生や教職員でにぎわっています。

食事エリアはとっても広くて、みんなでしゃべりながらご飯を食べるのが楽しい！



定食メニューの他、揚げ物、麺類、副菜、デザートなど種類が豊富！



チキン竜田丼は週替わりで登場するメニューで、出会えた時は絶対食べたい一品。

Bakery&Coffee なしカフェ



2024年6月にオープンしたばかりのカフェ。焼きたてのパンや挽きたてコーヒーが購入でき、イートインスペースもあるので熱々のパンをそのまま食べることも可能。



ラウンジとしての利用もできるので、新しい学生の憩いの場となっています。



様々なパンにコーヒーやカフェラテもあるよ！



王道メロンパン&チリソースウインナー。ドッグ。

1 工学部創立100周年 記念式典を挙

2024.9.28 Sat.

本学工学部は、大正13年（1924年）設置の国立山梨高等工業学校に始まり、令和6年（2024年）に創立100周年を迎えたことから、記念式典を挙



2 企業2社を大学発 ベンチャーに認定

2024.10.24 Thu.

新しい圧電・誘電材料の実用的な研究・開発等を行う「(株)IHPM」と、食品残渣を活用したキノコ栽培を主とした循環型食料生産システム構築事業を行う「(株)SD Global AgroTec Japan」を大学発ベンチャー企業として認定し、称号記を授与しました。



3 株式会社加藤電器 製作所と大学施設 ネーミングライツ 契約を締結

2024.11.13 Wed.

教育研究環境の向上等を目的として、株式会社加藤電器製作所と大学施設ネーミングライツ契約を締結し、オープニングセレモニーを挙



4 都留市と包括的 連携協定を締結

2024.11.18 Mon.

人的資源の交流や物的資源の相互活用など幅広い分野で協力し、相互の発展につなげることを目的に、都留市と協定を締結しました。第一歩として、本学の強みである水素・燃料電池の研究分野で連携活動を行って



5 三菱ふそうトラック・ バス株式会社と 包括的連携協定を締結

2024.12.2 Mon.

本協定に基づく研究開発、人材交流、教育・研修の機会の共有など、包括的な連携により、2050年カーボンニュートラルの実現に資する技術開発および人材育成に取り組んでいきます。



6 山梨大学特色ある研究 PR展示～発生工学 研究～開催中！

2024.12.2 Mon.

甲府駅北口において、発生工学研究センター監修のもと本学が行う国内トップレベルの研究である「発生工学研究」をテーマにした展示を開始しました。研究内容等を示すパネル展示や、マイクロコンピュータの操作体験を行っ



7 令和7年度山梨大学・読売新聞連続市民講座 「知る喜び～ひと・くらし・けんこう～」

申込方法や詳細は、
本学HPで
ご確認ください。



開催日時・スケジュール 13:30～15:00（開場 13:00）

	開催日	演題	所属	講師名
第1回	令和7年 4月19日(土)	香りで紐解く日本ワイン ～大学研究室からワイングラスまでの軌跡～	生命環境学域	鈴木 俊二
第2回	令和7年 5月17日(土)	AIがひらく新しい学びと暮らし ～その仕組みと活用～	工学域	塙 雅典
第3回	令和7年 6月21日(土)	グリアによる脳の若返り ～新しい脳細胞「グリア」の役割～	医学域	小泉 修一
第4回	令和7年 7月26日(土)	わたらしい生/死をめぐる倫理 ～自己の物語的解釈を手掛かりとして～	医学域	秋葉 峻介
第5回	令和7年 9月20日(土)	リニア山梨県駅(仮称)の活用 ～アクセス交通とまちづくりの視点から～	工学域	武藤 慎一
第6回	令和7年10月11日(土)	遺伝子とゲノム ～私達はどこまで遺伝子で決まるのか～	生命環境学域	幸田 尚
第7回	令和7年11月15日(土)	いま学校で何が起きているのか ～過去最多となった不登校といじめ～	教育学域	田中健史朗
第8回	令和7年12月20日(土)	脱炭素社会に向けた水素の最前線 ～山梨の産学官連携における挑戦～	工学域	稲垣 有弥
第9回	令和8年 2月14日(土)	国語教科書に見る日本社会の変化 ～宮沢賢治の伝記教材が語るよき日本人～	教育学域	茅野 政徳
第10回	令和8年 3月14日(土)	脳の最新治療と脳卒中予防 ～健康長寿を手に入れるには～	医学域	吉岡 秀幸

※今後の状況により、開催方法等変更となる場合があります。

問い合わせ先

山梨大学教務企画課連続市民講座担当
電話:055-220-8043 FAX:055-220-8796
✉ koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

令和7年度 学年暦(年間予定表)

前 期		後 期	
前期開始	4月 1日(火)	後期開始	10月 1日(水)
ガイダンス等	4月 1日(火)～4月10日(木)	開学記念日	10月 1日(水)
入学式	4月 4日(金)	秋季入学式(大学院)	10月 1日(水)
前期授業期間	4月14日(月)～7月30日(水)	後期授業開始	10月 1日(水)～2月2日(月)
第1クォーター授業期間	4月14日(月)～6月10日(火)	第3クォーター授業期間	10月 1日(水)～12月1日(月)
第2クォーター授業期間	6月12日(木)～8月 8日(金)	第4クォーター授業期間	12月 2日(火)～2月 9日(月)
夏季休業	8月 9日(土)～9月23日(火・祝)各学部で定める	大学祭(医学部キャンパス)	10月24日(金)～10月26日(日)
秋季卒業式・修了式	9月26日(金)	大学祭(甲府キャンパス)	10月31日(金)～11月 2日(日)
前期終了	9月30日(火)	冬季休業	12月27日(土)～1月 4日(日)各学部で定める
		春季休業	2月10日(火)～3月31日(火)各学部で定める
		卒業式・修了式	3月19日(木)
		後期終了	3月31日(火)

注1:1月16日(金)は、大学入学共通テスト準備のため休講(医学部キャンパスは通常授業)
注2:医学部キャンパスは、医学部授業時間割による



山梨共立グループ採用募集中

無差別・平等の医療で地域のニーズに誠実にこたえる
プロフェッショナルを養成します。

病院・職場見学やインターンシップも随時受付中！

医療職を目指す方は
採用サイトをチェック！

Check Here!

山梨共立グループの
働き方がここに！
recruitkyoritsu.com



表紙イラスト



制作
山梨大学美術部所属
教育学部
芸術身体教育コース4年
宮澤 弥生さん

今回の表紙イラストは、本学美術部の学生に制作を依頼しました。山梨大学の学生が、世界に飛び立つことへの希望や期待で胸を膨らませている様子を、女性の表情やポーズ、光の当て方で表現されています。(広報・渉外室)

広報誌「Vine」のアンケート にご協力ください！

抽選で10名様に
大学の
オリジナル
グッズ
をプレゼント！

※抽選で10名様に大学のオリジナルグッズをプレゼントいたします。
※個人情報厳重に管理し、他の目的・用途では使用いたしません。

アンケート回答締切

令和7年 5月30日(金)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。 回答フォーム



有料広告を募集します。 山梨大学広報誌 Vine に 「広告」を出しませんか？

広報誌 Vine は、毎年2回、全国の教育機関等に配布しています。ぜひ、貴社の広告、PR活動にお役立てください。詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

山梨大学広報誌 ヴァイン

2025 Spring vol.46



山梨大学総務企画部総務課広報・渉外室
☎ 055-220-8006 ✉ koho@yamanashi.ac.jp



未来への夢を カタチにし続ける

大成建設は未来へのイメージーションを働かせて常に挑戦しつづけています。
デジタルテクノロジーの分野でも業界の先駆けとなる技術を開発し、未来の新しい建設現場を目指しています。

ー2030年DXで変わるトンネル工事現場ー

VRでの作業確認



AI機械施工のモニタ監視



動画視聴は
こちらから



山梨大学OBの 大成建設社員から一言

大成建設株式会社 常務執行役員／深澤 裕紀(1985年 山梨大学 工学部土木工学科卒業)

みんなに
自慢できるような
ものづくりを
目指しています！



正岡 翔
中部支店 主任
[2018年卒業]

世界に負けない
新たな設計技術を
研究開発中！



穴倉 佳浩
原子力本部先端解析技術部 主任
[2019年卒業]

後世に残る構造物が
施工できるよう
設計業務に
取り組んでいます。



柴山 大明
土木本部土木設計
[2022年卒業]

ものづくりの過程に
最前線で携われる
ことが魅力です！



栗野 華衣
東京支店
[2021年卒業]

働き方改革に
率先して
取り組んでいます。



吉岡 南
土木本部作業所推進センター
[2020年卒業]

大規模な現場に
若手のうちから
携われることが
魅力です！



長谷川 浩朗
四国支店
[2020年卒業]



採用サイトは
こちらから

地図に残る仕事。®



大成建設株式会社

For a Lively World

